

**令和 3 年度主な実施内容及び今後の取組予定
岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会**

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 青森市 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

○防災拠点機能の強化

令和2年度から実施している防災活動拠点施設及び防災活動拠点施設のバックアップ施設における備蓄物資の強化拡充を引き続き行いました。

○新たな避難情報等の周知

災害対策基本法の一部を改正する法律が成立し、避難情報の名称が変更となったことについて、自主防災組織や町会等への防災講話などの機会に周知を行いました。



○自主防災組織の育成

自主防災組織をはじめ、自主防災組織未結成の町会等に対し、防災に関する講話等を実施し、自主防災組織の活動推進及び地域の防災意識の啓発に取り組みました。



【防災講話の様子】

【令和4年度の主な取組み予定】

○防災拠点機能の強化

令和3年度に引き続き防災活動拠点施設及び防災活動拠点施設のバックアップ施設における備蓄物資の強化拡充を行います。(約13,000人分⇒20,000人分へ拡充)

○避難情報の周知

昨年度、法改正により避難情報の名称が変更となったことについて、引き続き、自主防災組織や町会等への防災講話など、様々な機会を通じて周知を図ります。

○自主防災組織の育成

⇒自主防災組織をはじめ、自主防災組織未結成の町会等に対し、防災講話や防災訓練等の支援を引き続き行います。

⇒県と連携して自主防災組織を対象とした研修会を開催するほか、新たに青森圏域連携中枢都市圏の構成市町村(平内町・今別町・外ヶ浜町・蓬田村)担当者に研修会に参加してもらい、自主防災に関する情報共有を行うなど、広域での自主防災活動の活性化を図ります。

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 弘前市 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

- 「弘前市防災行政無線アプリ」の運用開始
 - ・スマートフォン等から防災行政無線の放送がリアルタイムで流れるアプリを運用
- 「弘前圏域8市町村国土強靱化地域計画」の推進
- ゲリラ豪雨を想定した「実働訓練」を実施
 - ・感染症対策をふまえた避難所運営訓練
 - ・土砂災害を想定した避難誘導訓練など



「弘前市防災行政無線アプリ」の整備



総合型の実働訓練を想定

【令和4年度の主な取組み予定】

- 弘前市防災マイスター育成講座
- 弘前市防災マイスターステップアップ講座
 - ・引き続き、弘前市防災マイスターの育成をしつつ、さらなる防災意識の向上を図るため、大規模水害を想定したマイタイムライン作成などの研修を実施する
- 弘前市防災マップを活用した出前講座
- 指定緊急避難場所の看板作成
 - ・弘前市防災マップを活用した出前講座や、浸水想定区域内における指定緊急避難場所の看板を作成し、水害時における地域住民の避難行動知識の向上を図る
- 自主防災組織の結成促進
 - ・自主防災組織未結成の町会に対して、組織結成に関するアンケート及び啓蒙活動を行い、地域防災力の向上を図る



過去の弘前市防災マイスター育成講座とステップアップ講座

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 黒石市 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

- 黒石市防災アプリを整備

自治体の緊急災害放送の電波周波数とスマホの電波周波数は異なるために、通常では聞くことができません。しかし、防災行政無線アプリは自治体からの放送をダイレクトに住民のスマホに放送できます！

- どこからでも（距離に制限なし）
- マナーモードでも（自動解除）
- 聞き逃しても（録音再生）
- アプリが起動してなくても（自動起動）
- 周波数の違う放送も

スマートフォンで防災情報が聞けるように！

- 市内の自主防災組織が行う普及啓発活動及び防災資機材等の整備に対し、災害対策費の一部（上限1団体5万円）を助成したほか、防災士資格を取得するための経費も助成。（上限1団体5万円）

【令和4年度の主な取組み予定】

- 黒石市防災アプリ「CosmoCast」の導入に伴い、広報掲載や説明会等を含めた周知活動を実施していく。

黒石市の防災無線がスマホに届く！

2022年4月からスタート

登録や設定も簡単！

今すぐアプリをダウンロード！

登録方法
【Cosmoキャスト】と検索してインストールします。

黒石市総務課防災管理室 西森黒石市大字/西11 黒地1号 TEL: 0178-52-2111 (内線207, 208)



- 浅瀬石川ダム大規模洪水を想定したダム警報訓練を岩木川ダム統合管理事務所と合同で実施。（6月9日実施済み）

五所川原市 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

- ・ 防災行政無線整備事業
災害発生時の情報伝達力の強化を目的として、市浦地区内陸部、金木地区の防災行政無線の整備を行った。
- ・ 防災講習会等の実施
市民に対し令和2年度に完成した防災ハザードマップを活用し、水害等の危険性や避難の方法を促すことによって、人的被害の軽減を目的とした講習会を実施した。



【令和4年度の主な取組み予定】

- ・ 防災情報の発信
五所川原FMでの放送を通して最新の防災情報や過去に実際にあった五所川原地域での水害などを紹介し、防災意識の向上をはかる。
- ・ 要配慮者利用施設の避難確保計画策定並びに訓練実施に対する支援の継続
要配慮者利用施設の避難確保計画策定の支援を継続する。また、各施設における水害想定避難訓練の実施をサポートし、初動体制の確認と災害対応力の向上をはかる。
- ・ 防災講習会の実施（継続実施）
市民に対して防災ハザードマップを利用した防災講習会を継続して行い、ソフト面からの人的被害軽減をはかる。

つがる市 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

- ・ 自主防災組織（水防活動含む）の資機材購入費の一部（上限：新規団体30万円、既設団体10万円）を助成し、地域の自主防災組織の取り組みを強化。

- ・ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練を促進。

- ・ 関係機関と連携し、地域住民や水防団員とともに危険個所の確認等を実施（合同巡視）。

- ・ ハザードマップを最新の浸水想定に更新し、市内全戸配布。



【令和4年度の主な取組み予定】

- ・ 自主防災組織（水防活動含む）の資機材購入費の一部（上限：新規団体30万円、既設団体10万円）を助成し、地域の自主防災組織の取り組み強化を継続する。

- ・ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練を促進する。

- ・ 防災教育や防災知識の普及のため出前講座等を活用した講習会を実施する。

- ・ 関係機関と連携し、地域住民や水防団員とともに危険個所の確認等を実施する。（合同巡視）

- ・ 最新の岩木川洪水浸水想定区域の更新に伴い、地域防災計画を見直し、防災・減災対策を強化する。

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 平川市 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

○市内小学校を対象とした防災教育の実施

市内小学校（猿賀小学校）の児童・生徒を対象とし、授業の一環として、避難所における段ボールベッド作成体験を行い、児童・生徒に対する防災意識の高揚を図った。

○備蓄食糧等の整備・管理

小中学校及び孤立集落等の備蓄食糧を更新。
また、地域防災拠点施設へ避難所用マット・食料等を配備。
（地域防災拠点備蓄整備：3ヵ年計画 R1開始 R3完了）

○職員を対象とした避難所設置・運営訓練を実施

避難所運営班となる職員に対し、備蓄品の確認や感染症対策を踏まえた避難所受付等、円滑な避難所開設に向けて対応能力の向上を図る避難所設置・運営訓練を実施。

○浸水想定区域内の要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援 対象となる施設に対し計画策定について支援を実施



令3年8月実施 避難所設置・運営訓練



【令和4年度の主な取組み予定】

○土砂災害と河川氾濫を想定した防災訓練の実施

近年激甚・頻発化する豪雨災害に対応するため、防災関係機関・団体との連携強化並びに職員の防災対応能力の向上を目的とした実動訓練を実施予定。

○備蓄食糧等の整備・管理

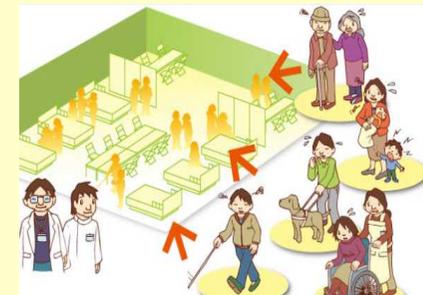
小中学校及び孤立集落等の備蓄食糧を更新。
不要となる備蓄食糧等は地域の実情に応じて、防災教育や訓練で活用する予定。

○総合的な防災マップの作成及び配布

令和3年度に公表された「遠部ダム・久吉ダム下流浸水想定図」を踏まえて、市内全域を対象とし、地震・洪水・土砂災害等を網羅した総合的な防災マップを作成・配布を予定。

○要配慮者利用施設における避難確保計画作成支援等 計画未策定施設に対し、作成支援を実施予定。

防災訓練会場
（ひらかわドリームアリーナ）



岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 藤崎町 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

- ・ 町防災訓練
※町・町消防団・町内会・自主防災組織・社会福祉施設等と連携して、情報収集・伝達訓練、避難所開設・避難誘導訓練、福祉避難所移送訓練を実施
- ・ 自主防災組織に関する研修会
- ・ 町避難所運営マニュアルの作成
- ・ 防災備蓄倉庫の設置



【令和4年度の主な取組み予定】

- ・ 町防災訓練の継続実施
- ・ 自主防災組織についての「まちづくり座談会」の開催
- ・ 自主防災組織に関する研修会の開催
- ・ 備蓄品の整備



町防災訓練（令和3年7月11日実施）

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 板柳町 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

- ・ 水防活動時に必要な資機材の点検を継続的に実施
- ・ 災害等活動時における連絡体制の強化をはかるために通信機器（携帯型デジタル簡易無線機）増台（50台）し合計77台とした。



【令和4年度の主な取組み予定】

- ・ 水防工法訓練が実施された場合参加予定
- ・ 平成27年に作成したタイムラインの修正を実施
- ・ 水防活動時に必要な資機材の点検を継続的に実施
- ・ 災害等活動時における連絡体制の強化をはかるために通信機器（携帯型デジタル簡易無線機）の訓練を予定



岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 鶴田町 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

- ・防災行政無線屋外拡声子局バッテリー交換
3カ年で屋外拡声子局(42局)のバッテリー交換を行う
令和3年度(14局)
- ・備蓄用飲料水購入
災害発生時の断水などに備え、飲料水を備蓄しておく必要があるため、備蓄用飲料水の購入を行う
- ・「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業を活用し、災害発生時の緊急対応・避難所運営に必要な防災倉庫の整備、重機や救助艇などの機材配備、下記研修を実施
- ・小型車両系建設機械の運転業務に係る特別教育

災害発生時に迅速で効果的な災害復興に資するため、消防署、消防団、町職員を対象とし、重機や機材等を活用した人材育成研修を実施



・コロナ禍の避難者受入訓練

災害発生時緊急対応や避難所運営ができる防災拠点とするため、消防署、消防団、町職員を対象とし、避難所づくり体験や炊出し訓練等の内容とした研修会を実施



【令和4年度の主な取組み予定】

- ・洪水ハザードマップ更新
浸水想定区域や避難場所の見直しに伴い、洪水ハザードマップを更新し、町内全戸へ配布する
- ・防災行政無線屋外拡声子局バッテリー交換
3カ年で屋外拡声子局(42局)のバッテリー交換を行う
令和4年度(14局)
令和5年度(14局)
- ・防災自動起動装置更新
防災自動起動装置の更新を実施する
- ・避難所運営訓練
地域防災への意識を高めるため、一般町民を対象とし、避難所運営訓練や避難生活体験を実施
- ・小型車両系建設機械の運転業務に係る特別教育、
コロナ禍の避難者受入訓練の実施



岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 中泊町 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

- コミュニティ助成事業(地域防災組織育成助成事業)
を活用した、自主防災組織の防災備品の整備
発電機や投光器のほか、簡易トイレや炊き出し用のかまどなどの防災資機材を購入し、大規模災害等の際に不安な生活が少しでも解消できるよう整備を行った。



- 避難情報の判断・伝達マニュアルの修正
災害対策基本法の一部が改正されたことに伴い、避難情報の名称が変更されたことから、マニュアルの修正を行った。
それとともに、避難判断水位や氾濫危険水位が設定されていない河川にあっては、独自に設定し、判断基準を明確にした。

【令和4年度の主な取組み予定】

- 県の事業を活用した
自主防災体験研修会
町内の自主防災会、自治会、消防団、集落支援員、民生委員を対象に主に風水害をテーマに研修会を実施。災害時の地域コミュニティ活動の事例等を学び、自助・共助の大切さを確認していただいた。



- 中里中学校での
「中学生の避難所運営体験」
一般社団法人男女共同参画地域みらいねっとが主催し、誰一人取り残さない避難所運営体験を実施した。中学生は将来の地域防災を支える一員であり、将来の地域防災力向上につながることから、モデル事業として実施した。



- 自主防災組織の結成に向けた取り組み
当町の自主防災組織カバー率は依然として県内でも下位であり、地域防災力向上が急務であるため、町で行っている「兼任集落支援員事業」の集会時などに、各地域で抱える防災の悩みを解決すべく自主防災組織について説明やアドバイスを行う。

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 大鰐町 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

○出水期に備えて、町職員で土のう作成を実施し、役場車庫に備え、いつでも配布できるようにした。



○日頃から町消防団と河川等の警戒巡視及び情報収集等をしており、特に降雨量が多くなったときは、各地区消防団による綿密な町内警戒巡視及びその情報収集を実施した。

【令和4年度の主な取組み予定】

○新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、9月末に開催予定の大鰐町総合防災訓練にて、関係機関と連携した水防訓練を実施し、各機関との連携や水防工法の確認を実施する。



○出水期の水害に備え、町消防団との連携を強化し、各地区消防団による綿密な町内の警戒巡視及びその情報収集を継続する。

田舎館村 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

- 洪水ハザードマップの毎戸配布及び村ホームページへの掲載
- コミュニティ助成事業（地域防災組織育成助成事業）を活用し、自主防災組織の防災資機材を整備
- 避難所用簡易ベッド、パーテーション、備蓄食料等を購入
- 県と連携して自主防災組織、自治会を対象とした研修会及び避難所運営訓練を実施
- 自主防災組織が行う資機材の購入及び防災知識の啓発活動等に要する経費の一部を助成



【令和4年度の主な取組み予定】

- 備蓄用食料等の購入
- 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び訓練実施を支援
- 自主防災組織が行う資機材の購入及び防災知識の啓発活動等に要する経費の一部を助成
- 立地適正化計画の作成

西目屋村 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

《水防資機材の購入》

- ・土のう袋の購入 200枚
- ・土のう用砂購入 2t

《防災マップ》

- ・西目屋村防災マップの作成し每户へ配布及び村ホームページへ掲載 【作成部数600部】

《防災訓練》

- ・新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所設置運営訓練を実施（段ボールベッド・パーティーション） 【村職員による】



【令和4年度の主な取組み予定】

- ・水防活動時に必要な、資機材等の点検及び補充を実施

- ・土のう袋の購入 200～300枚（予定）

岩木川大規模水害に備えた減災対策協議会

青森地方気象台 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

地域防災力を更に強化。

「あなたの町の予報官」を編成し、市町村との顔の見える関係を強化

平時から、首長訪問や出水期前の市町村訪問により、市町村等との緊密な連携関係を強化するとともに、自主防災組織や地域住民および児童・生徒等を対象とした気象防災ワークショップ等を実施するなど、市町村に寄り添った支援を実施。



【令和4年度の主な取組み予定】

防災気象情報の伝え方を改善。

「キキクル(危険度分布)」で「黒」の新設と、「うす紫」と「濃い紫」の統合(令和4年6月30日~)

色	警戒レベル
黒	5相当
紫	4相当
赤	3相当
黄色	2相当
白(水色)	-

色	警戒レベル
濃い紫	-
うす紫	4相当
赤	3相当
黄色	2相当
白(水色)	-

「線状降水帯」による大雨の可能性を半日前からお伝えします。(令和4年6月1日~)

「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準を満たすような線状降水帯による大雨の可能性が、ある程度高いことが予想された場合に、半日程度前から、気象情報において、「線状降水帯」というキーワードを使って呼びかけます。

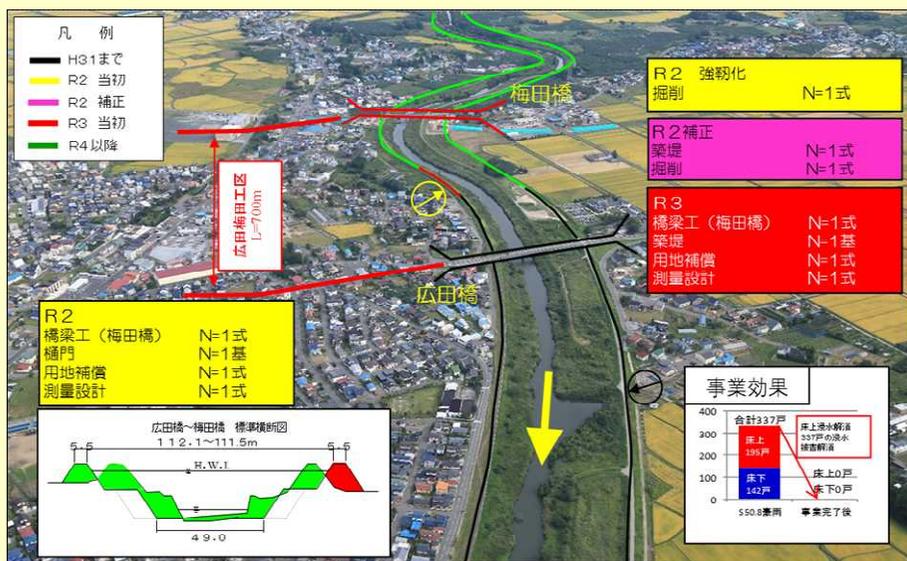
この呼びかけは、警戒レベル相当情報を補足する解説情報として発表します。

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 青森県河川砂防課 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

○治水ハード対策の推進【継続】

- ・平川広域（引座川、大和沢川、腰巻川）、旧十川、十川において広域河川改修事業を継続実施



岩木川水系十川 広域河川改修事業

○重要水防箇所等の合同巡視【継続】

- ・水防団、水防管理団体（市町村）及び河川管理者（県）等による河川の合同巡視を継続実施
- ・令和3年度は、山田川（つがる市）で実施

○緊急排水計画の策定【継続】

- ・平川において、想定最大規模降雨及び計画規模降雨時に早期に氾濫水を排除するための緊急排水計画を検討

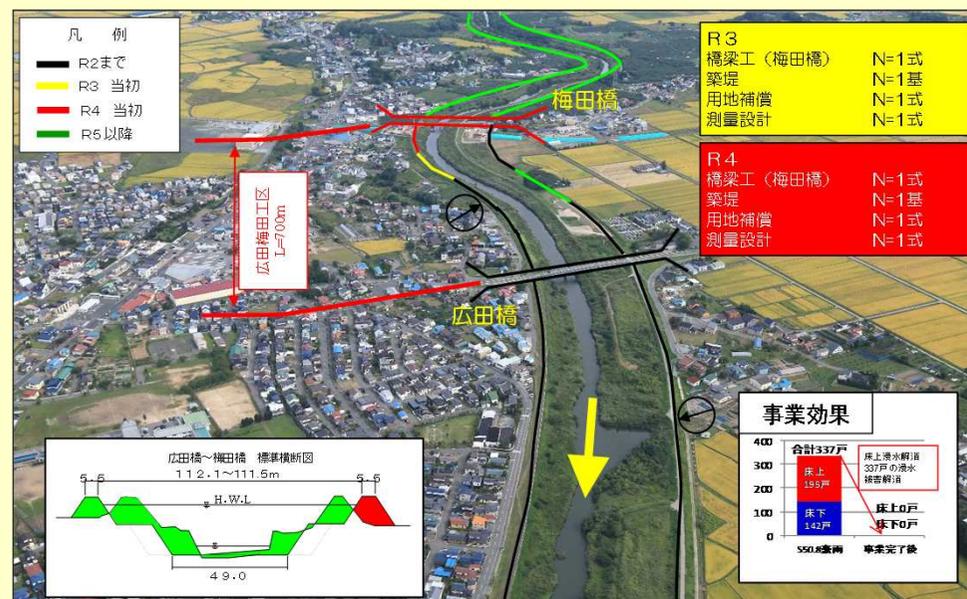


緊急排水状況のイメージ

【令和4年度の主な取組み予定】

○治水ハード対策の推進【継続】

- ・平川広域（引座川、大和沢川、腰巻川）、旧十川、十川において広域河川改修事業を継続実施



岩木川水系十川 広域河川改修事業

○重要水防箇所等の合同巡視【継続】

- ・水防団、水防管理団体（市町村）及び河川管理者（県）等による河川の合同巡視を継続実施

○防災教育や防災知識の普及【継続】

- ・深浦町立いわさき小学校において、川の防災安全教室を実施
- ・弘前市立石川小学校において、県による出前講座を実施



防災教育の実施

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 青森河川国道事務所 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

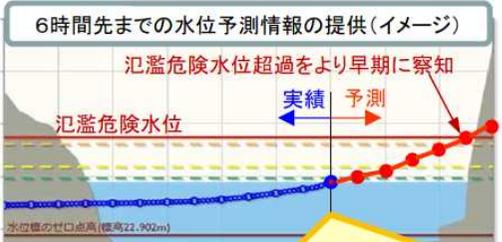
【令和3年度の主な実施内容】

● 流下能力対策（堤防・河道掘削）整備



● 洪水予報の見直し

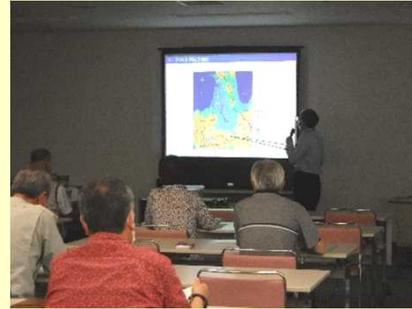
洪水予報について水位予測を現行の3時間先から6時間先まで拡大し、川の防災情報などで公表(R3.6.1~)



氾濫警戒情報【警戒レベル3相当】の発表を早めることで、高齢者等の避難のリードタイムをさらに確保！

● 防災教育の支援

地域住民を対象とした流域防災研修会において洪水に関する出前講座を実施 (R3.6.19弘前)



● 岩木川重要水防箇所合同巡視の実施

本格的な出水期を前に水防団や地域住民、防災エキスパート及び行政機関が参加し岩木川重要水防箇所の合同巡視を実施

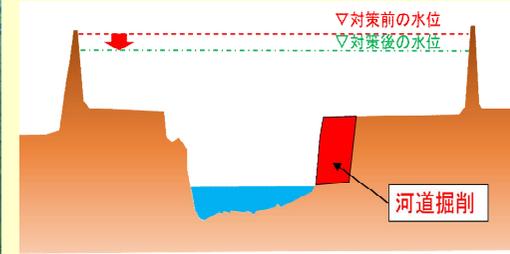
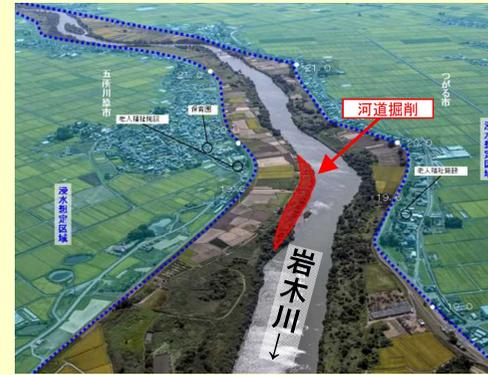
- ・ R3.7.2 藤崎(出)管内
- ・ R3.7.5 五所川原(出)管内



R3.7.5巡視状況(保安橋)

【令和4年度の主な取組み予定】

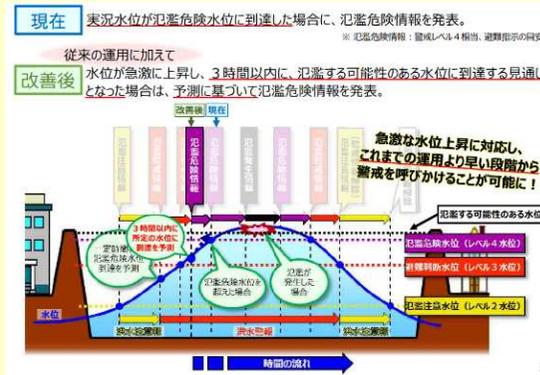
● 流下能力対策（堤防・河道掘削）整備



【河道掘削(イメージ)】

● 氾濫危険情報の発表前倒し

指定河川(馬淵川下流)洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表 (R4.6.13~)



● 洪水対応演習

本格的な洪水期を前に関係機関一同で実施(R4.5.13)



● 重要水防箇所合同巡視の実施 ● 流域タイムラインの作成

本格的な出水期を前に水防団や防災エキスパート及び行政機関が参加する重要水防箇所の合同巡視を実施予定

- ・ R4.7.4 五所川原(出)管内
- ・ R4.7.13 藤崎(出)管内

河川・気象の行動のきっかけとなる情報をまとめた流域タイムラインを作成しR5年度出水期からの活用を目指す

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 青森県防災危機管理課 令和3年度の主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

○防災教育や防災知識の普及

- ・人口減少社会に対応できる地域防災体制を構築するため、教育関係者やPTA等の地域住民へ向け、防災教育の重要性等を普及啓発するとともに、昨年度制作した防災教育活動支援ツールの活用方法を周知



- ・防災全般に関する出前講座を計8回開催（約350人聴講）

- ・浸水想定区域内の自主防災組織未設立町会等を対象に、設立促進及び活動の活発化を重点的に働きかけるための研修会を開催

- ・防災活動をけん引できる指導者的人財を育成し、課題や取組を共有してもらうため、地域防災活動ネットワーク研修会を開催

○市町村が実施する訓練の支援等

- ・地震を想定した災害対策本部図上訓練を実施

【令和4年度以降の主な実施内容】

○防災教育や防災知識の普及

- ・昨年度に引き続き、防災教育活動支援ツールの活用方法を周知するとともに、必要に応じて内容の更新について検討

- ・昨年度に引き続き、出前講座を開催

- ・昨年度に引き続き、研修会を開催
開催予定市町村：藤崎町、五所川原市ほか

- ・昨年度に引き続き、地域防災活動ネットワーク研修会を開催
開催予定市町村：青森市、五所川原市ほか

○市町村が実施する訓練の支援等

- ・昨年度に引き続き、災害対策本部図上訓練を実施
実施予定市町村：田舎館村

- ・市町村のハザードマップ作成作業に対し、必要に応じて助言等を行う。

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会

岩木川ダム統合管理事務所 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

防災教育の一環として流域市町村の小学生に社会科見学等の機会を利用してダムの役割や効果、必要性を説明した。

R3.10.12津軽ダム



R3.7.6浅瀬石川ダム



浅瀬石川ダム(R3.7.8)・津軽ダム(R3.7.9) 大規模洪水を想定したダム吹鳴試験を実施

緊急放流の際に実際に鳴らす内容を放送し警報設備(スピーカー及びサイレン)からの音の届き方を確認しました。

また、吹鳴試験にあわせて避難行動訓練を行いました。

警報所のサイレン等の音量測定



落合警報書

黒石市民の避難訓練

居森平集会所に避難訓練



【令和4年度の主な取組み予定】

小・中学生等を対象に、洪水時のダムの役割・効果など防災教育を継続する。



浅瀬石川ダム(R4.6.9)・津軽ダム(R4.6.8) 大規模洪水を想定したダム警報訓練を実施

緊急放流の際に流す案内放送を浅瀬石川ダムは27箇所、津軽ダムは5箇所の警報所の実施

- ①スピーカーによる音声放送
- ②サイレンによる吹鳴
- ③住民参加型避難行動訓練。

警報所のサイレン等の音量測定



西目屋村居森平地区避難訓練



黒石市山形公民館への避難訓練



田舎館村枝川会館への避難訓練



藤崎町白子研修センターへの避難訓練



岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会

岩木川ダム統合管理事務所 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

テレビ報道関係者と「ダムの管理をわかりやすく伝えるための勉強会(Web会議)を実施

令和3年9月8日令和3年洪水・濁水の記録、ダム用語の解説とダム運用、わかりやすいダム映像についての意見交換

【主な内容】

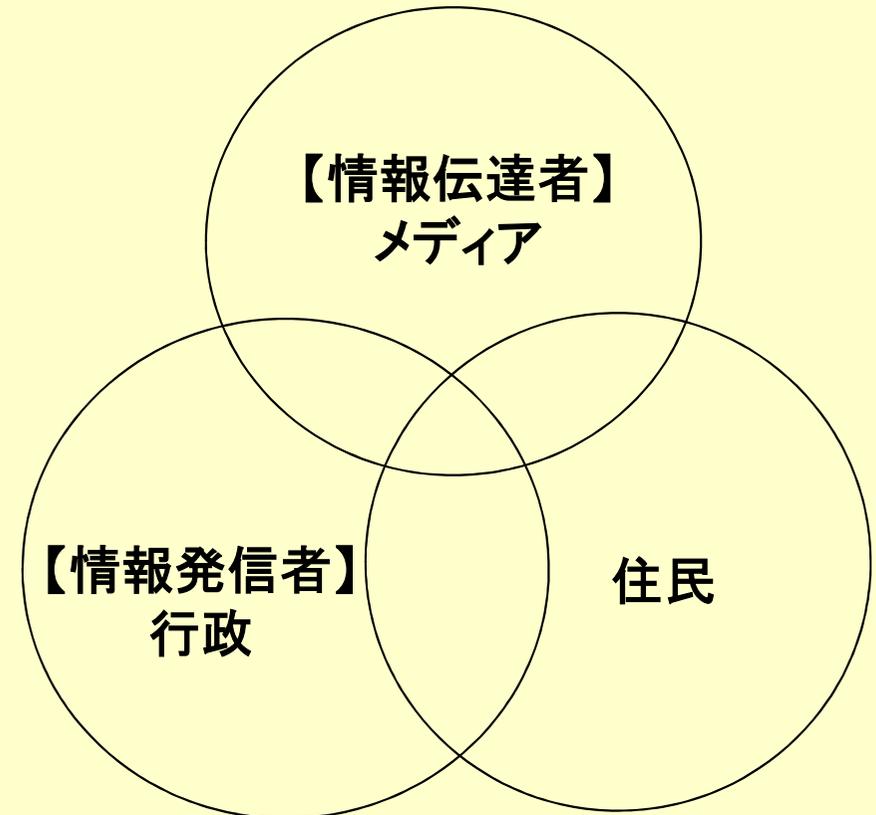
- ①令和3年5月洪水(津軽ダム既往最大)
- ②令和3年 津軽ダムの濁水対応
- ③浅瀬石川ダム・津軽ダムの管理概要
- ④ダム用語の解説とダム運用
- ⑤防災・減災の取組み
- ⑥津軽ダムライトアップ 2021夏
- ⑦写真で見る浅瀬石川ダムと津軽ダム
- ⑧わかりやすいダム映像を常時配信中(24時間)



【令和4年度の主な取組み予定】

メディアと防災等に関する意見交換を実施予定

身近な存在であるメディアによる発信にあたり防災に関する知識向上の支援として意見交換を実施予定



岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会

岩木川ダム統合管理事務所 令和3年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和3年度の主な実施内容】

【令和4年度の主な取組み予定】

岩木川ダムメールを令和4年10月1日から運用開始

「岩木川ダムメール」とは、ダムの放流に関する情報を中心としたメール配信サービスで、事前に登録した利用者にダムからの放流があることを※メールでお知らせするものです。

ダム放流する際は、警報設備(スピーカー及びサイレン)で周知していますが、言葉が聞き取れない、ダムから離れているところにおいても知りたいという人は、文字情報として確認することができます。

令和4年10月4日17頃に着信したダムメール(19時頃から越流開始)

チラシ配布

弘前市	広報紙掲載
黒石市	チラシ配布
西目屋村	チラシ配布
田舎館村	チラシ配布
藤崎町	チラシ配布
板柳町	広報紙掲載
鶴田町	広報紙掲載